

## 全体会記録

司会者 それでは定刻がきましたので、ただ今より全体会をはじめたいと思います。「W i t h ともに燃やそう解放の炎」のメインスローガンのもと、全体会では、お手元の資料にあります各学年のテーマに基づいて進行していきたいと思いますが、この後各学校代表者にそれぞれの学習会について説明をしていただいたのち、五人の方々に意見発表をしていただきます。その後、それらの内容も含めて、全体で意見交換をしていきたいと思えます。活発な参加をお願いします。

それではまず、参加各校からそれぞれの学習会についての紹介を簡単にお願ひしたいと思います。後ろを向いて報告してください。

まず、山川中学校お願いします。

山川中 山川中学校の学習会は二会場で、十八人と五人に分かれて毎週火、木曜日に行っています。普段は教科学習を行っています。月一回の人権学習で仲間の絆を深め、真剣に、でもリラククスして取り組んでいます。一泊研修にも人権学習を取り入れ、親子で話し合う機会も

つくっています。私たち仲間は人前で意見などなかなか言えないかもしれませんが、今日はたくさん勉強したいと思えます。よろしくお願いします。

司会者 ありがとうございます。

続いて、江原中学校お願いします。

江原中 江原中学校の学習会は、教育集会所で週二回、火曜日と金曜日に行っています。参加者は一年生が五人、二年生が六人、三年生が四人の十五人です。教科学習は五教科を行っています。他に同和問題学習と生活進路についての学習をしています。生活進路学習の時は、将来のことや希望する進路について話し合ったり、生活に生かせる活動をしています。行事は親子同和問題学習や一泊研修を小学校といっしょに行っています。また一日遠足や交流運動会や仲間の集いは、町内の学習会に参加している小中学生や檜ヶ岡育成園の園生の人たちといっしょに行っています。この交流会は初めて参加しますが、たくさん仲間を増やせるようにがんばるので、よろしくお願いします。

司会者 ありがとうございます。

続いて、川島中学校お願いします。

川島中 川島中学校学習会について発表します。僕たちの学習会は、一年生一名、二年生五名、三年生一名、計七名で、毎週火曜日と木曜日に実施しています。教科学習では先生方と楽しい雰囲気の中で、それぞれの弱点を克服するため一生懸命取り組んでいます。同和問題学習は月二回で、全員の先生が交代で三人ずつ参加してくれ、先生方一人一人の同和問題に対する考えや思いを語ってくれます。僕たち自身も自分の考えや思いを話し真剣に勉強しています。今年学習会交流会に初めて参加しました。みなさんの意見や考えを聞くことで一つでも多く学んで帰り、これからの生活に生かしていきたいと思えます。よろしくお願ひします。

司会者 ありがとうございます。

続いて、美馬中学校お願ひします。

美馬中 私たち美馬中学校では、東西に分かれ同和問題学習を中心とした学習会が週二回火曜日と木曜日にあります。学習内容は国語、数学、英語のワーク類をしたり、三学年全員が集まり同和問題について話し合ったりしています。出席率はいい方ですが、遅刻が多くてみんなあんまりやる気ありません。でも話し合いたいことは、

自分たちから意欲的に発表できています。年に一回竜王山でキャンプがあります。今年は初めて姉妹町である愛媛県の三間中学校との合同キャンプでした。今後私たちの後輩にも交流を深めてもらいたいと思えます。また私たちの学校では人権弁論大会という行事があります。この行事はそれぞれ各クラスの代表の弁論者が、同和問題に対しての自分の考えや実際に見たり聞いたりして知った差別の実態などを文にまとめ、次にこれについてどんな感想を持ったかなどを話し合う行事です。この大会には私たち学習会のメンバーも何人か参加しました。メンバーそれぞれの方を言っていました。そのどれもすばらしい、いい意見でした。いっしょに学習して誇りに思いました。これからも同和問題についてもっと学習していきたいです。今日はよろしくお願ひします。

司会者 ありがとうございます。

続いて、三島中学校お願ひします。

三島中 私たちの学校の学習会は月曜日と木曜日の週二回で、夏は五時半から七時三十分まで、冬は五時から七時までです。一年生七人、二年生十五人、三年生十五人の計三十七人です。教科学習は主に国語と数学と英語をや

ついで、月に一回くらい同和問題学習をします。その他に一泊研修や納涼祭など子ども会活動をしています。

去年は美馬郡の学習会交流会を開きました。今日はよろしくお願ひします。

司会者 ありがとうございます。

続いて、大麻中学校お願ひします。

大麻中 僕たち大麻中学校は週二回、月曜日と火曜日に行っています。場所は解放センターの一方所で人数は三十人から四十人くらいです。教科学習と同和問題学習を交互に行っており、今は人権劇などについて話し合っています。今日はあまり人数は参加していませんがよろしくお願ひします。

司会者 ありがとうございます。

続いて、鳴門第二中学校お願ひします。

鳴門中 僕たちはみんなで八人です。いつもは五教科の勉強をしていて一ヶ月に一回同和問題の勉強をします。今日は一日よろしくお願ひします。

司会者 ありがとうございます。

続いて、石井中学校お願ひします。

石井中 石井中学校の学習会は二つの会場で行われています。

す。週に二回火曜日と木曜日の六時半から八時まで勉強しています。三年生は月曜と水曜に勉強しています。内容は教科の学習と同和問題学習です。同和問題学習は、月に一回行い、みんなの意見を出し合います。子ども会活動は主にボーリング大会を行い、二つの会場の生徒の交流をはかっています。夏休みには一泊研修を行い、今年は剣山に行きます。県同和問題意見発表のテープを聴いて話し合いをする予定です。また近くの学校の学習会に参加している人たちと交流会を持つことも予定しています。以上です。

司会者 ありがとうございます。

続いて、応神中学校お願ひします。

応神中 応神中学校は徳島市の北部、吉野川と今切川に挟まれたなし畑や野菜畑の多い緑が豊かなところにあります。応神は全校生徒百八十名あまりの小さな学校です。学習会にはそのうち四十名ぐらゐが参加してがんばっています。学習会は火曜日と木曜日と週二回あります。一、二年生は国語と数学と英語の三教科をしていて、三年生は国語と数学と英語と社会と理科の五教科をしています。また月一回同和問題学習や特別活動をしています。特別

活動では一年生から三年生がいっしょになって地域の人の話を聞いたり他の学校との交流をしています。もっと学習会の参加者が増えてほしいです。そしてこのような交流会にもっと参加していきたいです。

司会者 ありがとうございます。

続いて、上板中学校お願いします。

上板中 私たち上板中学校の学習会は週二日月曜と火曜に行っています。会場は三会場で主に教科学習、月に一回同和問題学習をしています。出席率は七割くらいです。また夏休みには仲間との協力やより仲良くする目的のため一泊研修があります。今日はいろいろと勉強したいと思いますのでよろしくお願いします。

司会者 ありがとうございます。

続いて、加茂名中学校お願いします。

加茂名中 加茂名中学校の学習会は二会場に分かれており、週二回火曜と木曜にあって、教科学習は数学、国語、英語をしています。月に一回の人権学習は交替でどちらかの会場でいっしょにしています。この前六月の三日に八万と国府とで学習会の交流会をしました。カルタ取り大会と花火をしました。八月二日と三日に一泊研修があり

ました。各学年に分かれてそれぞれの思いや保護者のことを聞きました。今日は少しでも勉強になればと思ってきました。よろしくお願いします。

司会者 ありがとうございます。

続いて、吉野中学校お願いします。

吉野中 吉野中学校の学習会の状況は、各学年週二回で国語、数学、英語の勉強を中心に行っています。また同和問題学習では、学習会の意義を最初の学習会で行い、必要に応じて何度も学習会の意義について話し合っています。ときどき高校友の会の先輩と交流をしています。そしてまた同和カルタや人権劇を通して、差別を許さない、差別に負けない心の勉強をしています。さらに支え合い、励まし合う仲間づくりを目指して取り組んでいます。以上が吉野中学校の学習会の取り組みです。

司会者 ありがとうございます。

続いて、板野中学校お願いします。

板野中 板野中学校は五つの会場に分かれて学習会をしています。週二回のうち月曜日は五時半から七時までやっていて、あと一日はみんなが行けない日のできるだけ、六時半から八時までやっています。教科は国語、

数学、英語、社会、理科のどれかをやっています。それと一ヶ月に二回は部落問題学習をしています。内容は学校の道徳で使う資料についてやいろいろな差別についてのビデオをみて話し合っています。学習会生徒は全部で百三十四人でそのうち三分の一ぐらいしか来ていません。できれば三分の一を二分の一か全員にしたいです。また今年から解放子ども会が月に一回定期的に行われるようになりました。学習会の時間の中で解放子ども会をやっているのですが、何をするのかというと、地元の高校生友の会「真友会」の人たちから高校のことを教えてもらったり、差別問題について話し合ったり、またベトナムトトロケットをつくって飛ばしたりする活動をしました。時には小学生も混じって共に楽しく取り組んでいます。行事については夏休みとか休みが多いときに、いろいろな学校に行って部落問題や自分に関することを語り合っています。去年の夏休みには大阪の羽曳野市へ行って、羽曳野中学生や部落解放同盟の音野さんと語り合うことができました。羽曳野の中学校を案内してもらったり、フィールドワークをしてもらいましたが、そのとき僕が知らないことばかりをしているなど、すごく勉強

になりました。また大阪人権博物館リバイバルもおさかにも行きました。映画を見たりたくさんの本やマンガなどの資料を見ることができました。今年の夏も羽曳野へ行って語り合う計画です。このほかにも、冬には毎年解放クリスマス会があり、去年はおいしんぼう大会ということで、日頃から集まらない五つの会場の子が集まり、料理を自分で決めてつくることで仲間づくりの輪を広げました。春には三年生を送る会があります。今年の三月には今の高一の先輩といっしょに大阪の海遊館に行きました。僕はいろいろな魚を見ることで驚きました。また大道芸を見ることで、世の中にはすごい人がいるなあと思ったりしました。今年もこれから行事がありますが、お別れ遠足の時先輩から言われたことを思い返し、より多くの仲間とつながりながら、学習会の行事に積極的に参加していきたいと思えます。

司会者 ありがとうございます。

次に、阿南中学校お願いします。

阿南中 僕たち阿南の学習会は十四人で、毎週火・木曜日、七時から八時三十分まで勉強したり、同和問題学習をしたりしてみんなでがんばっています。全部の学習会生徒

の数のわりに学習会に来ている人が少ないです。一年間にいろいろな行事があります。全員参加というのは難しいですが、まずみんながそろふことを目標にし、少しずつ高い目標に向かっていこうと思います。僕たちがこれから何をしたいか思いません。今日一日よろしくお願いします。

司会者 ありがとうございます。

続いて、阿南第一中学校お願いします。

阿南一中 阿南一中の学習会は、現在五つの小学校から進学してきていて、五つの小学校すべてに学習会があります。そして私たちの阿南一中には八つの学習会会場があり、合計百二十四人が学習会に参加しています。全校生徒の約二十五パーセントになります。昼の時間に学習会について放送しているのですが、百二十四人が参加しているのではなく、七十パーセントから八十パーセントしか参加できていません。しかし学習会の仲間は、子ども会活動や夏季キャンプ、十一月の冬期合宿の機会には教科の勉強だけでなく同和問題の学習にも積極的に取り組ん

でいます。

司会者 ありがとうございます。

続いて、日和佐中学校お願いします。

日和佐中 日和佐中学校の学習会について紹介します。僕たちの学習会は一年生二名、二年生八名、三年生五名の計十五名です。毎週火曜日、金曜日の二日、教科学習と月一度の同和問題学習や、親子同和問題学習にがんばっています。また子ども会活動として夏休みにはキャンプ、冬休みにはクリスマス会、三学期には三年生を送る会を自分たちでがんばって運営しています。教科学習では二会場を使っています。昨年は三年生は三名しか参加できませんでしたが、今年から新たに二名増えて五人が仲良くなっています。同和問題学習ではまだみんな自分の気持ちを素直に話すことはできないと思います。また僕たち学習会の仲間が、自分らの思いを語ることでつながりを深めていくことが大切なので、意見が出せるようにしていきたいと思います。子ども会活動はレクリエーションが中心です。楽しい活動が多いので、みんな楽しくやっています。今年は高校生もひとり参加してくれました。僕たちも来年キャンプには参加して学習会に帰っ

てきたいと思います。以上で学習会の紹介を終わります。

司会者 ありがとうございます。

続いて、那賀川中学校お願いします。

那賀川中 那賀川中学校では三地域、四会場で学習会をそれぞれ火曜日、木曜日に七時から八時四十分までしています。内容は主に教科学習ですが、年四回合同で同和問題学習をしています。今日は他の学校のこととも聞きたいと思います。よろしくお願いします。

司会者 ありがとうございます。

続いて、牟岐中学校お願いします。

牟岐中 私たちの学習会は毎週月・木で、夏は七時三十分から九時三十分まで、冬は七時から九時までです。人数は少人数で、学習内容は国数社理英の五教科と同和問題学習です。子ども会活動では四月は開講式で、七月はキャンプ、三月はお別れ遠足と閉講式です。七月二十九日に県の同和問題意見発表会を聞きに行つて、たくさんの方の意見を聞くことができてよかったです。今日はよろしくお願いします。

司会者 ありがとうございます。

続いて、坂野中学校お願いします。

坂野中 僕たちの住んでいるところは那賀川町と小松島の境にあります。五十五号バイパスを通ると、坂野中学校

があります。学習会ではゴミ拾いなどをして地域を美しくしています。これからは学習会だけではなく、生徒会そして全校区へ広がっていくことが僕たちの課題です。一生懸命努めていきたいです。

司会者 ありがとうございます。

続いて、香川県豊中学校お願いします。

豊中中 香川県から来ました豊中学校です。昨年香川県の中学生がたくさん集まって、中学生だけでこんな大きな集会を開いてすごいなと思いました。今年もこの集会に来てうれしく思っています。僕たちの学習会は火曜と木曜の七時半から九時までしています。主に学校の教科の勉強をしています。それと解放学習は月に二回しています。内容は、学校で同和問題学習があるときにその時に使うプリントを学習したりしています。今日はよろしくお願いします。

司会者 ありがとうございます。

続いて、香川県鶴尾中学校お願いします。

鶴尾中 高松市立鶴尾中学校から来ました。全校生徒は二百三十六人で、仲間は六十二人です。学校の人権学習は、一年生では地域めぐり「鷺田村小学校事件」、今の鶴尾小のことです。二年生では五色台集団宿泊学習を行い、「仲間のつどい」「在日韓国朝鮮人問題」、三年生では、「ある母親の手紙」と学習を進めてきました。今日は先生に勧められて参加しました。僕たちの地域には学習会がありません。みんなの取り組みを聞いて僕なりに学んでいきたいと思えます。

司会者 ありがとうございます。

続いて、鴨島第一中学校お願いします。

鴨島一中 私たちの鴨島第一中学校では、学習会会場が二つあります。人数は二会場合わせて三十名です。活動は教科の学習と同和問題学習を月に一回か二回行っています。夏休みには一泊研修で淡路島へ行ってきました。今年中にはまた違うところへみんなと同和問題学習や見学に行こうと計画中です。今日は県内の仲間の活動や考えられていることを聞き、これからの私たちの活動に生かしていきたいです。よろしくお願いします。

司会者 ありがとうございます。これで参加二十二校全

ての中学校の学習会紹介が終わりました。

それではこのあと、五人の意見発表をいただいた後、本会場全体で意見交換を行いたいと思います。意見発表をする人は、前の方に集まってください。

それでは一つめの報告を、板野中学校Nくんよりお願いします。

板野中N 「部落問題学習と自分」板野中学校一年N。

僕は中学校に入って、森口先生やクラスのみんなと共に一人一人の自分の気持ちを語り、話し合ってきました。一回一回の学習を終える度に、小学生の時とはちがって本当の自分を出せるようになってきたのだと思います。小学生の頃、いや、少し前もそうだったんだけど、自分が発表していることと普段の生活とは全く違っている時がありました。

例えば、「いじめられている子などを見たら注意したい」と発表の中では言っていますが、実際は何も言えず、見て見ぬ振りをする本当の自分がありました。

皆さんも経験があるでしょう。注意をしなければと心の中では思っていますが、注意をしたら何か言われないうるかかと弱気になり、勇気が出せず、自分の弱さに嫌気



がさしたことが一回は誰にもあるだろうと思います。僕もそうです。

中学校、初めての家庭訪問の時に自分が部落だと知った時、驚きのあまり、深くは考えられませんでした。でも、自分が数多くの差別を受けるかもしれないと思うと、初めて部落という重みを知りました。心の中に嫌なものたまっていきだし、学習会や部落問題学習のことになると手も挙げれない自分が嫌でした。でも、一回一回の部落問題学習で、友達や先生の話聞いて考えているうちに、心の中の嫌な重みが自然と軽くなり、自分の思いを語れるようになっていました。自分の出身を明かした時は、心に打ち込まれている杭が抜けた様な感じになり、心の重みなどとうに消えて無くなっていました。

そして、中学校初めての全体学習で、一年生のおんなと素直な気持ちを語り合ったことで、自分に自信というものが僕の心の中に生まれてきたように思えます。一年のみんな一人一人が、自分の素直な気持ちを出し合い、話し合っているのに、ある一部の子が隣の子と話をし、全く聞こうとする様子も見られない姿を見た時、僕は絶対に許せないと思いました。許せないと思うよりも僕

らの思いをわかってもらえるように頑張らなければと思いました。訳は、話しているその子自身が自分の行いの過ちに気付き、自分の考え方を変えていかないと、誰かが何を言っても変わらないことが今の現状だと思います。クラスの中でも、ある一部の子が一生懸命に頑張っていて、他の子は何もしないような現状ではありませんか。一部の子が頑張っているだけのクラスなんてつまらないとは思いませんか。クラスのおんな、一人一人が一生懸命に取り組むことが、お互いを信頼する関係を作り出しているのではと僕は思っています。

普段の授業でも同じだと思います。先生によって態度を変えたりする、そんなつまらないことはやめて、一生懸命頑張ってみようとは思いませんか。授業でなくても僕はだからしたりすることはありますか。普段から一生懸命頑張っているかと思っています。訳は、その一時、一時はもう二度と戻っては来ないからです。そんな貴重な時間を、まして、自分をマイナスに導くような過ごし方のままでよいのでしょうか。よく考えて下さい。

人によって態度を変えようということは、差別にあては

まると僕は思います。人によって態度を変えるということは、人に上下をつける、上下関係を生み出しているとは僕は思います。

今この世の中には、見えないだけでまだ多くの差別が残っています。クラスのみんなが一丸となり、差別などを絶対許さないという関係を作っていくのが、今の僕の課題です。僕自身もこんな頃があっただんですが、「僕は部落差別やいじめなんかしない、だから部落差別なんて関係ない」と思っている人も大勢いると思います。差別をしないことは本当にすばらしいことだと思います。でも、本当に関係のないことなのだろうか。部落差別の問題はただの他人事にすぎないのだろうか、それとも自分自身の問題としてこれから考えていかなければいけないのかをよく考えてみて下さい。

ご静聴ありがとうございます。

司会者 ありがとうございます。

続いて二つめの報告を、吉野中学校Nさんより願います。

吉野中N 「私の決心」吉野中学校三年N。

私は部落差別があり、今なお差別に苦しむ人がいると

いうことは、おかしいことだと思えます。昔の人は、年貢をたくさん取り上げるために、この身分制度を作ったというけど、それが今も生きているということが矛盾していると思います。なぜその地区だからといって、差別を受けなくてはならないのでしょうか。今も人の心は、江戸時代から変わってないのですか。基本的人権が尊重される現代なのに、同和地区だからといって、人生で一番幸せな、愛した人との結婚までもが駄目にならなければいけないのでしょうか。

私は小学生の頃、同和問題についてあまり関心を持たず、学習会にも入っていませんでした。深く考えたことがありませんでした。でも中学生になってからは、学習会にも入り、同和問題学習に積極的に取り組むようになり考えを深めるようになりました。私が特に考えたのは、結婚差別のことです。学習会の時、先生から「まだまだ世の中には偏見を持った人が多く、付き合っている人の住んでいるところや、家柄などをいろいろ調べて、付き合いをやめさせられたり、結婚が駄目になってしまうことがある。」と聞きました。私は帰って母とそのことについて話をしました。すると母が、「うちも同和地区だけ

ど、そんなんで差別されることが間違つとんやから、これから先、差別と向かい合う時が来るかもしれんけど、その時は間違つた考えを持っている人に負けたらあかんよ。」と言いました。やっぱり自分自身の問題であり、絶対に人ごとでは終わらせてはならないものだと思えました。

しかし、部落差別はいけないと言われている世の中なのに、なぜ完全になくならないのか疑問に思っていました。そんな疑問もあり、学習会で同和問題について勉強する日にいろいろと意見を言つて話し合つてみました。初めの私の意見は、「寝た子を起こすな」という言葉があるように、なぜ何も知らない子どもたちまで同和問題のことを話して、知らせていかなければならないのだろう。同和問題を知らせずにさえすれば、差別することもないのではないかと思つていました。でも、先生から、「もし、正しい知識を伝えていかなければどうなると思う。親から子へと間違つた考えを教えてしまったら、人々の考えは変わっていかない。真実を知り、その考えをなくしていける大人になつてもらうために、学校や学習会で同和問題について勉強しているんだよ。」という言

葉が返つてきました。

私はその考えに共感し、これからは、隠せたら隠すということを考えるのではなく、正しいことを前向きに、同和問題について勉強しようと思いました。

その一つに、二年生から郷土芸能クラブに入っています。郷土芸能の獅子舞とは、昔同和地区の人たちがお祭りなどに行けなかつたので、お祭りの代わりに作った祭りごとだそうです。私は、それを聞いてそのような誇りあるすばらしい文化は残していかなければと思い、今年も入部しました。

これからも同和問題に積極的に取り組み、学習会も休まず行つて、正しいことがちゃんとと言える大人になりたいです。私が大人になり結婚する相手が同和地区出身じゃなくて、結婚を反対されても、相手も相手の両親にも正しいことは何なのかがちゃんとわかつてくれるようになるまで説得し続けます。同和地区だからといって差別されるのは絶対におかしいです。それよりも私は、差別されても部落差別をすることのない立場にいることを誇りに感じることさえあります。私は自分の考えに自信を持って、正しいことが正しいと言える人になる決心をし

ました。それが差別解消につながると信じているからです。

ご静聴ありがとうございました。

司会者 ありがとうございます。

続いて三つめの報告を、石井中学校Kさんよりお願いします。

石井中K 「僕と学習会」石井中学校三年K。

僕が住んでいる地区が、昔部落差別を受けていたのを小学校で聞きました。学校でも道徳の勉強で部落差別について話し合ったりしました。ある日、学習会は何のためにあるのかを地区のおじさんから聞きました。その人は、「昔はみんな、自分の兄弟の世話などで、学校には行かしてもらえなかった。そして我々が、夜勉強する会を作ろう。」とやって作ったのが学習会でした。

僕たちの学習会は、主に学校の勉強などをやっています。昨年までと違って参加人数が多くなりました。実は、僕も昨年までは学習会に参加していませんでした。訳は、部活があつて帰つても時間が遅くなつて行けなかったからでした。他の友達や先生に「学習会に来いよ」と言われても、自分自身、学習会に行くのが嫌になっていまし

た。何故学習会に参加するのが嫌になったかというところ、部活動に力を入れたからです。それと、他に参加していない子がいるから、自分一人くらい参加しなくてもいいのではないだろうかと思うようになりました。そして、三年になって担任の先生が家庭訪問の時、「学習会に参加した方がいいと思う。その方が自分のためになるよ」と言われました。先生に言われてみて考えてみると、今年は高校受験があるし、最後の中学校生活になるので学習会に参加することに決めました。学習会に来て僕が思ったことは、参加人数が多くなったと思いました。そして、みんなが誘い合つて参加できるようになりました。僕が思ったことは、みんなが誘い合つて学習会に行くようになって本当によかったと思いました。でも、ただ参加するだけでなく、目的を持って僕は学習会に参加しています。僕の目的は、学習会のみんなと仲良くすることです。みんなと仲良くすることによって、参加しているみんなと何でも話し合え、同和問題のこと、そして自分たちのことを言い合える仲間が作れます。

僕は、親と同和問題について話し合ったことがあります。多分僕が思うには、父も母も差別を受けて、その

ことについて話をしたくないのだと思います。僕がもし、部落のことを親に聞いて話したくないのなら、それはそれでいいと思います。人は誰でも過去の嫌なことは語りたくないと思います。でも、親が差別を受けていたことは知っておいてもいいと思います。

僕はこの前、板野中学校で中学生集会の実行委員会に参加して、他の学校の意見を交換しているのを見て、とてもびっくりしてしまいました。第一回の実行委員会なのにこれだけの話し合いがされるのかと思います、部落差別のことを真剣に考えているのだと実感しました。他の学校の生徒は、こんなにも部落差別の思いをはきはきと言えるのに、自分は何か情けないと痛感しました。

部落差別は今も残っています。僕の両親やおじいさんやおばあさんの時代にあった部落差別を、僕たちの時代でなくしていきたいです。そのためには、学校や地域で話し合いの場を作ることが大事です。

今日のこの集会を機会に、僕は部落差別解消に向けて立ち上がってきたいと思います。いつか自分が輝ける未来にしていきたいです。

司会者 ありがとうございます。

続いて四つめの報告を、板野中学校Oさんよりお願いします。

板野中O 「部落差別に対する怒り」板野中学校二年O。

世の中にはいろいろな差別があります。その中でも、私は、部落差別が絶対に許せません。なぜ許せないかというと、父が被差別部落出身ということで父と母が結婚差別を受けたからです。そして、小学校五年生の時、父と母に、

「どんな結婚差別を受けたん」

と聞いてみると、父は、

「やっぱり、お母さんの母親や親戚には反対された」

と言ってくれました。その話を聞いた時、私は、心の中で一つだけ気づいたことがあります。それは、私が生まれてから一回もお母さんの母親、つまりおばあちゃんに会ったことがないということです。さらに、父と母の結婚差別について詳しく聞いていくうちに、父も母も泣いていました。その時の父と母は、今まで見たことのないような顔つきで、怒りや悲しみでいっぱい顔でした。私はその姿を見て、

「なぜ、好きな人と結婚できないんだろう。なぜ部落だ

からといって反対されるのだろう」

そう考えているうちに、

「なぜ私はこんな所に生まれたんだろう」

と思っていました。それから、

「なぜ私は、こんな所に生まれたのだろう」

と思うことが何度かあり、その度に怒りと悲しみが込み上げてきました。

中学一年生の時、私の体育館シューズが盗まれたことがありました。私は、

「自分に部落の血が流れているからこんなことをされたのか」

という思いを少し持っていました。またある時、違う学校の友達に、

「どこらへんに住んでいるの」

と聞かれたことがあります。その時なぜか、自分が部落出身だということを隠したこともありました。自分が部落出身だということを友達に知られたくなかったからです。でも心の中では、

「隠したらダメだ。きちんと本当の事を言わなければ」  
という気持ちもあり、

「なぜあの時、自分は隠したのだろう」

と悩むこともありました。そして、そんな時自分がどれだけ弱いかがすぐくわかりました。心の中では、

「隠してはダメだ」

という気持ちはあるのですが、それを言ったことで部落の人間だということがわかり、

「嫌われたらどうしよう」

と思ってしまう、つい隠してしまっただけです。しかし私は、部落に生まれたいと思っただけではありません。でもみなさん、もし自分が部落の人間だからということで、誰かに、

「あそこの子と遊んだりしたらあかん」

と言われたらどう思いますか。私であればそういった人やそう言わせている差別社会が憎くて許せません。そう思うと部落の人たちが今までどんなに苦しく、また悔しい思いをしてきたかがよくわかるはずですよ。

でも、今の私はそんな苦しい思いをしていません。それはなぜかという、心が通い合い、また、私を理解してくれる仲間がたくさんいるからです。だから今は、胸を張って生きていきます。

でも、私も人を差別したり、いじめをしたことは何回もありました。反対に、いじめをされたこともありましたが。でも、私はいじめに負けないでいじめられたことをみんなの前で言いました。すると、いじめた人たちが謝りに来てくれたのです。私はその時、いじめや差別が絶対に人間として間違っているということに気づいてくれただけですごく嬉しかったのです。いじめられたことがあるから、私にはいじめられている人たちの気持ちがよくわかります。だから、いじめられている人たちに、「いじめめる人ばかりでないよ」

というて、友達になっていきたいと思っています。私はそのために、自分にできることは最後までやっていき、自分の差別意識を少しでもなくしていこうと思っています。また、部落差別をしている人たちにも、

「部落の人が、悪いのではない。部落差別を作った人も悪いけど、それを今まで残してきた社会が悪い。その社会は私達一人一人が作っているんだ」

ということをわかってもらって、自分の身の回りのことから少しづつでも、世の中にあるいろいろな差別をなくしていきたいと思います。そうすることによって、人と

人とのつながりもでき、差別やいじめがなくなり、みんなが幸せに暮らしていけると思っています。そのためにも、自分の本当に思っていることを一人でも多くの人に聞いてもらったり、自分の考えに対して意見を言ってもらったりすることができればと思います。とにかく差別問題について友達と日頃から話し合うことが大切だと思います。

さらに、部落差別やいじめをみんなで考えていくことで、一人一人が自分の考えをはっきり言えるようになっていきます。それには、一人一人の自覚や協力が大切になってきます。そんな積み重ねを通して、いじめやいろいろな差別の解消につながってくると私は思っています。

私は、将来結婚をする時、相手の人や相手の両親に、自分が部落出身だということをはっきり言えるようにしていきたいと思っています。そして、もし相手の両親に反対されることがあったとしても、部落差別がいかに愚かなことであるかをわかってもらえるような、強い心を持てるように頑張りたいです。そのためにも、みなさんも共に部落差別について考えてください。

ご静聴ありがとうございます。

司会者 ありがとうございます。

続いて五つめの報告を、上板中学校Nさんよりお願いします。

上板中N 「信じ合える仲間と共に」上板中学校三年N。

「お前の家は同和地区だろ」こんな電話がある中学校の学習会に通っている子の家にかかってきました。私はこの話を聞いた時、すごく辛い気持ちになりました。なぜなら、私も学習会に通っているからです。その子はすごく辛そうでした。同時に私もすごく辛い気持ちになりました。その子の心の痛みが私にはよくわかるからです。自分の仲間がこんな辛くて悲しい思いをしてると思うと、悔しくて、電話をかけた人のことがとても許せませんでした。その反面、「私の家にもそんな電話がかかってきたら」と不安の気持ちでいっぱいでした。でもその子はその話をしているときでも、「僕は差別には負けない」という表情で、真剣に話してくれました。私はその表情にすごく励まされたような気がします。

この話は、学習会に参加している子が集まった、部落解放徳島県学習会中学生集会で聞いたものです。一年生

の時、二年生の時と二回この会に参加して、私は得たことや思ったことがあります。

まず一つは、一人一人が自分なりの気持ちをきちんとして持っていることです。本当にみんなすごいと思いました。みんな同じように差別に対する怒りや憤りを持っていて、一人ひとりの思いが、私に伝わってきました。

二つめは、みんなが「差別には絶対負けない」という強い気持ちを持っていることです。みんながその気持ちで交流学習会に参加していました。人一倍、その気持ちを強く持っているみんなを、私は同じ学習会に通っている一人として、その仲間がたくましく、また、誇らしく思えました。

私も、部落差別には負けたくありません。今の差別は目に見えにくくなってきました。しかし、社会では私達の目の届かない所で、部落差別は起こっています。そして、部落差別を受け、苦しんでいる人たちがたくさんいるのです。私はそういう人たちを見捨てることはできません。だから私は、その人達を守ります。そのためにも、今の私達にできることは何だろうかと考えてみると、まず一つは、学級や校内での同和問題学習を、今まで以



上に取り組んで、みんなに私の思いを語って、わかっ  
てもらうことです。自分の思いも語らないで差別をなくそ  
うという考えは、甘いと思います。自分の思いを語るこ  
とで、差別をなくすことに少しでも近づくと思っています。

もう一つは、交流学習会のように仲間の輪を広げ、強  
くつながっていくことです。他の学校では学習会の出席  
率が低いということを聞きました。ただでさえ差別をな  
くそうという人たちが少ないのに、差別に一番身近にい  
る私達が、差別をなくすために頑張らなくてはどうか。  
私達の力で少しでも差別をなくしていかなくては、  
自分たちの子どもに自分たちと同じ辛い気持ちをさせ  
ることになります。皆さんはそれでもいいですか。私は絶  
対にいやです。だから、自分にできることは精一杯やり  
ます。私達が頑張ることで、部落解放という大きな光が  
一筋一筋見えてくるでしょう。このように、差別に対す  
る怒りや思いをぶつけ合うことや、みんなで真剣に部落  
差別をなくすための運動をすることで、部落差別という  
厚い壁は壊すことができると思います。いえ、絶対  
壊すことができるでしょう。人間が作った差別、人間で  
ある私達が力を合わせてなくしていきます。差別の

ない明るい未来を築きましょう。そして、二度と差別が  
出てこないように、自分の気持ちをしっかりと維持してい  
きましょう。

私は頑張ります。差別がある限り、自分にできること  
は頑張っていきます。そして、学習会に通っている仲間  
や私と同じ気持ちでいる友達と一緒に、部落差別に立ち  
向かっていきます。信じ合える仲間がいる限り。

司会者 ありがとうございます。意見発表をしていただ  
いた五名のみなさんは降壇して、元の席に戻ってください  
い。

それでは引き続き意見交換に入りたいと思いますが、  
話し合いの内容は、お手元の資料にあります各学年のテ  
ーマや、ただ今していただきました意見発表について深  
めていきたいと思えます。なお記録の関係上、発表者は  
申し訳ありませんが中学校名、学年、氏名を言ってから  
発表していただきますようお願いいたします。

それではよろしく願います。

吉野中M では、司会の吉野中学校二年のMの方から言わ  
せていただきます。

先ほどNさんの報告にあったように、友達の家に向

いう電話がかかってきたというので、うちの学校の方でも似た話が持ち上がったんです。僕の友達からちよつと聞いたんですけど、その友達の家に「お前部落だろ。部落って名乗ったら一万円やるわ」とかいって、その子のお母さんの友人から電話がかかってきたそうです。その時のお母さんの気持ちは、かんかん怒ってその人の家に怒鳴り込んだそうです。それまではふくんという感じに聞いていたんですけど、その僕の友達が最後に言った言葉がちよつと悔しかったです。「うちの母さんなあ、あんな事だけには真剣やけんなあ」と言ったのがすごく悔しかったように思います。

板野中K 板野中学校のKです。実は、僕のいとこにそういう差別電話がかかってきたんですよ。僕はそのとき、人間ってなんでこんなに醜いかなあつて感じたんですよ。人間ってどんなことでも差別して、人と自分を分けたりしよんですよ。けど、人間ってなんでこんなに心の中が醜くて汚れとるんかなあと思つた瞬間、僕も人間なんだなあと思つたんですよ。だからちよつぱり、僕にも差別したりする心があると思つて、その時僕も差別したらどうなるんだろうと思つたんですよ。けどよく考えたら、僕は部落出身だ

から差別されるんだなと思つたんですよ。人間って差別されるのに差別したりして、ちよつぱり変だと思ふんですよ。差別されたり差別したりの繰り返しで何百年も続いてきて、それがこつこつこの頃変な感じがしてきて。たまに学習会でも、部落の子ばかり集まってもあまり意味がないような気のする時もあるし、ちよつぱり差別をなくすんだしたら、部落と部落でないを分けんと全員で集まってる方が一番大切だと思ふときもあるんですよ。今やつてることがちよつと変でないのかと思ふときもあるんだけど、ちよつぱり今の僕にとっては、こういう制度としてその中で思いつきやりたいからがんばっています。

ほんで、僕が行っている学習会は全員の三分の一も来ていない状態で、前だったら僕一人の時もあつただけど、そのときはこつこつ辛いんだけど、でも学校で誘つていったら一人か二人増えてきて、そのときは仲間というのがすこくうれしく感じた時もあったんですよ。こういう問題は仲間がないとどうにもならないこともあると思うんですよ。僕が学校の問題で悩んでいたときも、ちよつぱり助けてくれたのが仲間だったんですよ。だからこの問題は、差別をなくすというより、仲間の輪を広げていくっ

てことと考えるとるけん、この会はくらいい雰囲気だけど、仲間の輪を広げていくっていう感じでいったらもうちょっとみんなも明るくなって発表しだすと思う。

吉野中K 吉野中学校のKです。今、意見発表をしてくれた五名のみなさんはみんな本音を語っていました。本音を語ること、つまり自分の醜いところを語ることは結構難しいことだと思います。わたしも少し前までは上辺だけの意見を言っていました。でもこれでは絶対に人の心を打てないと気づきました。そう気づいてから、私は自分の本音を語ることができました。本音を語ることによって仲間とのつながりが深まるような気がします。

司会者 ありがとうございます。

他に意見はありませんか。

上板中N 上板中学校のNです。うちの親は同和問題とかにあんまり真剣にならんといてみたいなことを言よんよな。うちは自分が部落に住んどるといことで真剣になりたいんやけど、親は部落差別から逃げとるとい感じがあるけん、自分が実際親になったときは絶対逃げんところと思つとるし、みんなにも絶対逃げて欲しくない。こういう会で自分の知識の中に部落問題のことを勉強し

て、しっかり部落差別があかんということを維持していたら、みんな強い人間になれると思うけん、頑張っていきましょう。

司会者 ありがとうございます。

他に意見のある人はありませんか。

板野中O 板野中学校のOと言います。私は結婚差別のことで発表したんですが、私の横の家の人も結婚差別にあっていたんです。それは男の人の親が反対してたんですね。でも最後は分かってくれたんです。それが、やつぱりすごくうれしくて、みんながやつていけば部落差別はなくなるんだと私は思いました。

司会者 ありがとうございます。僕も今の話を聞いてちよつとくやしい思いを……。うちの親もそういうくやしい思いをしたので、すごく分かるような気がしました。他のみなさんはどう思いますか。

板野中M 板野中学校三年Mです。僕の親は学習会のことをむちやくちや考えてくれるし、お母さんとかばあちゃんとかお父さんが、昔部落差別受けたことを言うてくれるし、いい親持ってよかったなって思うし、僕も部落差別に負けんとがんばれる親というか、子どもを応援でき

る親になりたい。だからこういう時に勉強していったって、部落差別はあったらあかんというのをもっと勉強していったって、いろんな場で意見言つて輝いていきたいと思いません。

司会者 上板中学校のO君どう思いますか。

上板中O 今、何人かの人がいるいろいろ発表してくれたんですけど、自分から考えていくっていくのがあるんですけど、やっぱり家族の中で話し合うっていうことも大切で……。

僕の親は同和問題学習のことについて話し合うことはあまりないんですけど、「話し合うなら話し合つて解決せえ」とっていう賛成のほうですよ。今の自分は何でこんなにか分かんないんですけど、ずっと前は何でも自分からクラスに呼びかけて「ああしよう、こうしよう」とって呼びかけたんですけど、今の自分は前みたいに意欲もないし、自分からすすんで何かしようということもないし、あんまり積極的に行うことがなくなつたんですけど……。部落差別をなくすっていう気持ちは自分は大切にしとるし、なぐす方法も学校やクラスで話し合つたり、学習会で話し合つたりするのは考えようけん……。上板中学校もいろいろ問題があつて、話し合いをするだけでも解決でき

んことがあるし、解決してることもあるんですけど、こういう場でみんなの意見聞きたいし、気持ちに分かんかったら僕らも言い様がないし、ここで友達の輪も広げれるし、僕らもそれにこたえて解決できる方法が答えれるでえ。だから、自分の気持ちに考えがあるんだつたら発表していったって欲しいし、僕も何か解決方法が思いついたら発表するので、よろしくお願いします。

板野中N 板野中学校のNです。今、学習会に来ていない人が学習会に参加していくことが大事だと思います。学習会の人数の集まりが少ない問題で、みんなが来るようになればもっと大きな力になると思うし、みんなが一致団結してがんばることが僕は大事だと思いました。

上板中N 上板中学校のNです。みんなに教えて欲しいことがあるんですけど、うちの中学校の学習会のメンバーの中で、去年は「やるぞー」みたいなやる気満々のやつが、今年になって急に「こんなんしんだいけん行かん」というふうになつたんですけど、原因が分からんけん、どういうことが原因でそういうふうになつたとみんなは思っていますか。

板野中K 板野中学校のKです。さっき言つたことなん

ですが、そんな人が僕の学校でもおるんですけど、その人については別に、いや僕の考えなんですけどね、無理に説得して学習会とかに連れてくるのはあんまりいい方法ではないと思うんです。まあ何とも言えないんですけど……。その人の気持ちがどうなのかは僕にもよく分からないんですけど、気持ちが変わっても悪い方向に行っていないければ、僕は別にいいと思うんです。ここに集まれたから良いとか悪いとかいうんじゃないと思うし、集まるのが良いことなのかなあと思うときもあるんですけど、良い意見がまとまらないのですが。まあ、僕もちよつとよく分からないのでこのくらいにしときます。

司会者 このことを解決するためのみなさんの意見を多く聞きたいので、どんどん手を挙げて欲しいと思います。

板野中 A 板野中学校の A です。僕らはここに何をしに来ているのか。ただ軽い気持ちできているのか、自分らの差別に対する怒りのことでみんなが集まっているのか、よく考えてください。

板野中 K 板野中学校のです。さっきの上板中の子の話。やっぱり本人に会って聞かないと分からないと思うんですよ。家の用事で来れんとか、塾で来れんとかあると思うし、

もしかしたら学習会自体のやってるのが無意味と感じてるかもしれない。板野中学校にもそういう子おると思うんですよ。僕も話をしたりしたことあるんやけど、しんだいとか、もうあきらめたという子もおったり、親が行かさんとか塾で行けんとかいう子もいっぱいあって、事情は人それぞれやけど、その人に聞いて、僕らでそういう人がこれるような学習会を作っていくべきだと思います。それに学習会に来てるから部落問題に真剣だということもあるし、今この場に来てない子でも部落問題に真剣な子もいると思うし、この場は学習会に来ている子だけの集会だから、学習会に行っていない子でも真剣な子がいると思うから、集まっている子だけが真剣とは言えないと思います。

司会者 昔の人がどういう思いで学習会を作ったのかよく考えて欲しいと思います。どなたか意見はありませんか。

板野中 O 板野中学校の O です。私のお母さんは「部落差別の解消のことを考えるんもええけど、勉強のことを先に考えな」って言うんですよ。私もそれが正しいと思うんですよ。だって勉強はちゃんとして、大学もきちんと行かな、部落差別をなくしていこうってひとりですって、みんな

がちゃんと自分が暮らせるくらいのおちゃんとしたものを持たな、そういうことに手がまわらんと思うんよ。だから、親が言うのは正しいと思うんよ。そういうことを先生とかに言うんやけど……。先生はな、考えてくれる人もおるんよ。だけど先生やけんいうて、仕事っていうことで「(差別は)あかん」と考えとる人もおると思うんよ。そういう人を見たことがあるけん、そういうことを言よんやけど。そう思うと、こういうこと(部落差別)は、代々親から伝わって残っていくもんやから、子どもの立場から考えると、先に親が直さないとどうにもならんと思います。

板野中A 板野中学校のAです。さっきの上板中の話なんです。僕も一回学習会ずっと休んでいたことがありますが。あくまで僕の意見なんですけど、急にみんなが休んだりして、僕も行かん、僕も行かんってそんな言葉が出てきて、気が引き締まらないようになってそのまま休んでいたこともあるので、もうちょっとみんなが気を引き締めてくれたらもうちょっとやる気も起こると思います。司会者 先生方の意見も頂戴したいと思しますので、どんなか意見のある先生は発表してください。

板野中 板野中学校の吉成です。先生に意見を求めて先生が黙っておるといふのも非常に情けない話だと思えますので、一言だけ言っておきます。さっきから中学生の意見がいろいろ出てるんですけど、そうやなそうやなと思うものもあり、それはおかしいんじゃないかというものも具体的にあり、細かく実は話がしたいんですが、いっぱいありすぎてよう話しません。ただひとつだけ思っているのは、いっしょにやっていく大切さと、いっしょの身を点検する必要があるんじゃないかと思うんです。勉強が先かこの問題が先かとなったら、これはどっちが先という問題ではないような気がするんです。勉強することも当然大事だと思うんだけど、その勉強の中身が、みんなにも考えて欲しいんだけど、単に勉強するんだったら果たしてそれでいいんじゃないかなあって思うんです。勉強する中身に、この勉強が一体何の役に立っていくのかということを考えながら勉強できる力が大事なんじゃないのかという気がするんです。単に勉強するだけだったら、言い過ぎかも分かんけど、止めてよって思うんですね。単に勉強するだけだったら目的もなく勉強することになるから、それは止めた方がいいんじゃないかなという気

さえします。それがこれからの社会にどう役立っていくための勉強をしているのか。特に今ここにいる我々は差別を解消していくための勉強を九教科という形でやっているんだと考えた方がいいと思います。他にもいろんな勉強があつて、学校の国語とか数学とか理科社会、そんなんじやなくて、もつともつと大事な勉強も他にいっぱいあつて、そういう勉強もしていく。何の目的のためにしていくのかといつたら、差別解消のためにそういう勉強をしているんだ、というふうに考えられないかなと思ふんです。だから私の中では勉強が先とか部落問題を解決するのが先とかそういう問題じゃなくて、勉強することの中に、中心に、核に差別をなくすという視点があるのだと思ふんです。そういう意味では(勉強も部落問題も) いっしょにやるものじゃないかなと思ふんです。それと、先生もいっしょにやっついていかないといけないんだけど、残念ながらまだまだ先生の方にも勉強できてないところがあるんじゃないかな。中学生のみなさんにこれは聞き返したいんだけど、みなさんのそれぞれの中学校の先生とか今まで出会ってきた先生とかどうだったですか? 思い返してみたいなと思ふんです。今まで

に出会ってきた先生が本当に差別をなくすための先生だったかどうか。かく言う私自身も点検していかんだらいかんことなんやけど、そういう意味で考えたなら生徒も先生も関係なくいっしょにやっついていかないかんのでないかという気がします。ちよつと長くなっているようなので、この辺でおいておきます。またみなさん意見お願いします。

司会者 今の吉成先生に対して意見はありませんか。

山川中M あの、うちの部活であつた話なんですけど、みんなが「先生に頼ってもらいたくないわ」とか言つて、「どしたん」つてきいたら、事件とかが起こつても先生がちやんとつていうか、真剣に相談にのつてくれないというところがあつて。それでこないだ人権集会があつたけど、校長先生もみんなから見たら寝るように見えるんです。「校長先生が寝よるのに、なんで自分やがそんなこと話し合えないけんえ」つてみんな言つてたんですよ。それで私は校長先生が寝よつたとは思いたくないんやけど、みんな寝よるとか言うて「先生はあてにならない」つてみんな思つてるんです。すいません名前言い忘れましたけど、山川中学校のMです。

板野中O 板野中学校のOです。今さつき先生が言ったことで、私ひとつ体験したことで、みんな個性があるのでいろんな先生がいると思うんですけど。一年生の時のクラス先生が、担任の先生が：：私とか女の子が男子にいじめられたことがあったんです。蹴られたところ見たのに、何も言わなくて反対に男子をかばったんです。それを見て飛び出す女の子もいたんです。学校の途中で、バッグ持って「私もう帰る」とか言って。先生は止めんと「ほっとき」みたいな感じの顔して、私たちが止めに行っただんですけど、やっぱり帰ったんです。で、私も帰りたいたいと思っただけです。そんないじめがあったから。でもここで逃げたらやっぱ自分が情けないんで、逃げなかつたんですけど、帰った子の気持ちも分かるんです。なんべん言っても先生が何もしてくれないから、「自分でせえ」って急に言われても仕方がないので、少しづつしていくことが大事だと思っただけです。クラスの女子全員が「あの先生はこういう事では絶対頼れん」ということで、違う先生に言ったりしてたんですね。その先生今はいないんですけど。みんな私やのクラスの子はホツとしてた感じで。その先生には悪いんですけど、そ

の先生は辞めた方がいいのかなと思いました。

阿南第一中N えっと、僕の中学校の同和問題学習は、たいていして不満はないけど、小学校の時はずっと、なんちゅうたらええんかなあ：：不満がたくさんあって。なぜかというと同和問題学習の時に、「意見とかあったら発表してください」って言われたときに、発表はしたけど、先生に「お前何言いよんな。なんや言いよることいっこも分からへん」ってよく言われて。特に良かった意見を「それが答えだ」と言うて、同和問題学習のすべての答えにしたりして、意見とか言いにくかった。小学校の時の同和問題学習はちよつと不満だった。でも中学校はそんなことないんで不満はないけど、小学校の時の同和問題学習はちよつと僕にとってあんまり楽しくなかったように感じました。名前を言い忘れていました。阿南第一中学校のNと申します。

板野中M 板野中学校三年のMです。先生のことになるんですけど。細かいこと「お前服装が悪いぞ」とか言うてくれるんは嬉しいんやけど、先生がむちやくちや細かいというか、細かいことばっかり言うてくるというか。僕は先生の好きになりたいんやけど、その先生は僕を



避けよるといふか。僕が機嫌が悪いときにたまたまその先生に、その先生は先生で好きなんやけど、勉強せなあかんけん一応先生の話聞きよらんやけど、その先生が僕にいろいろ言うて来てその先生だけにキレルんやけど。みんな周りの子も「あの先生は絶対おつたつて意味ない」つてほとんど今の三年生の子が言いよんやけど。うちの親もその先生が好かんのよ。けど、一学期の最後にその先生が僕に言うたんは、高校の体験学習行くときに、ちようどその嫌いな先生が付き添いやつて、最初つから行くん嫌だったんやけど、その先生が僕に向かつて「お前が行つたら問題を起こす」よくなことを言われて。親にそれを言つたらその先生にいがり込んで行くのが分かつつたけん、この体験学習に行くときにお母さんが「お前なんで行かんのな？」つて聞かれたときに、こうこうあつて好かん先生にそういうこと言われたけん行かんのじやつて言うたら、「そうか。その先生嫌いだつたら嫌いでいいけん」つて。お母さんもその先生嫌いというか、その先生はみんなに嫌われとるんですけど。結局はそうなんですよね。その先生は悪い奴ひとりしか見てない。そしてそいつだけに集中して注意して、そいつも機

嫌悪くしてその先生に反抗する。僕といっしょのような奴がようけおつて。ええ先生はええ先生なんですけど。

司会者 終了時間が少し過ぎましたが、このへんで本全体会を終了したいと思います。ご協力ありがとうございました。

この後、全体会場の後ろでお弁当とお茶の受け渡しをしますので、各自で受け取りに行ってください。

そして昼食・休憩の後、十三時までには各分散会場へ移動していただきたいと思ひます。なお分散会場ですが、資料の五、六ページを開けてください。一学年分散会について訂正します。A B合同で行うことになり、となりの文化センター三階の三号室、B分散会場で行います。二学年A分散会は、同じく文化センター二階の四号室、B分散会は五号室で行います。三学年A分散会は、当青少年センター四階の第二セミナー室、B分散会はこの大会議室で行う予定です。分散会では、やはり資料にあります各学年のテーマに基づいて進めさせていただきたいと思ひますので、それぞれの考えをまとめておいてください。

それでは、周りの仲間に積極的に声をかけ、互いに交

流し合いながら食事をし、お昼のひとときを過ごして  
ください。よろしく願います。

なお、記録をお願いしてある各学校の代表の先生は、  
マイクの所まで集まってください。